

## 「気象研究ノート」原稿募集について

気象研究ノート編集委員会では、気象学に関する広範な分野を扱い、特徴ある印刷物を発行して来ました(ついでながら、近々、気象教育、雷、局地循環などの号が発刊される予定です)。このたび、さらにノートに変化を与え内容を一層豊富なものにするため、従来の編集方法のほかに、つぎのような内容のものを年1冊くらいの割合で出版したいと考えます。奮発しご投稿のほどお願いいたします。

- (1) いろいろなグループのゼミなどで行っているレビューをまとめたもの
  - (2) 科研費の報告などで、それに少し手を加えることにより最近の進歩の解説書となるもの
  - (3) その他、特に若い会員の研究意欲を刺激するような内容のもの
- なお、投稿要領はつぎのとおりです。

### 投稿要領

1. 原稿枚数 目安として400字詰め原稿用紙50~400枚(図表を含む)。

2. 図・写真 なるべくそのまま印刷できるような鮮明なもの。
3. 採用決定 当編集委員会で行う。
4. 原稿料 内規による。
5. 著作権 原稿は他人の著作権などを侵害しないものであること。また掲載された報文の著作権は日本気象学会に属する。
6. 報筆要領 その他の執筆要領は「天気」の投稿規定に準ずるものとする。
7. 原稿送付 原稿は2部(うち1部はコピーでも可)を下記あて送付する。

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内  
日本気象学会「気象研究ノート」  
編集委員長 竹内清秀

なお、将来は、パソコン使用の汎用性のある面白い計算やデータ処理のプログラム(フロッピーディスク)なども考えて行きたいと考えています。皆さんのご意見をお聞かせ下さい。(気象研究ノート編集委員会)

## 日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第20回夏季大学 「新しい気象学」	昭和61年7月28日~31日	日本気象学会	気象庁
関西支部 第8回夏季大学	昭和61年7月28日~30日	日本気象学会関西支部	大阪府立労働センター
北海道支部 第4回夏季大学	昭和61年7月31日~8月1日	日本気象学会北海道支部	札幌市青少年科学館
短期・中期数値予報の国際シンポジウム	昭和61年8月4日~8日	WMO(気象庁)・IUGG	東京, 気象庁
第4回エアロゾル科学・技術研究討論会	昭和61年8月21日~22日	エアロゾル研究協議会	愛知県産業貿易館(名古屋市)
第3回アジア流体力学会議	昭和61年9月1日~5日	アジア流体力学会議委員会	日本都市センター
Beijing International Radiation Symposium	1986年9月2日~6日	Chinese Meteorological Society & American Meteorological Society	Beijing
第12回リモートセンシングシンポジウム	昭和61年10月27日~28日	計測自動制御学会	国立教育会館
昭和61年度日本気象学会秋季大会	昭和61年11月5日~7日	日本気象学会	愛知厚生年金会館(名古屋市)
第9回風工学シンポジウム	昭和61年12月4日~5日	日本気象学会他	気象庁
International Union of Geodesy and Geophysics, XIX General Assembly	1987年8月9日~22日		カナダ, バンクーバー